

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第5週 （1月27日～2月2日）

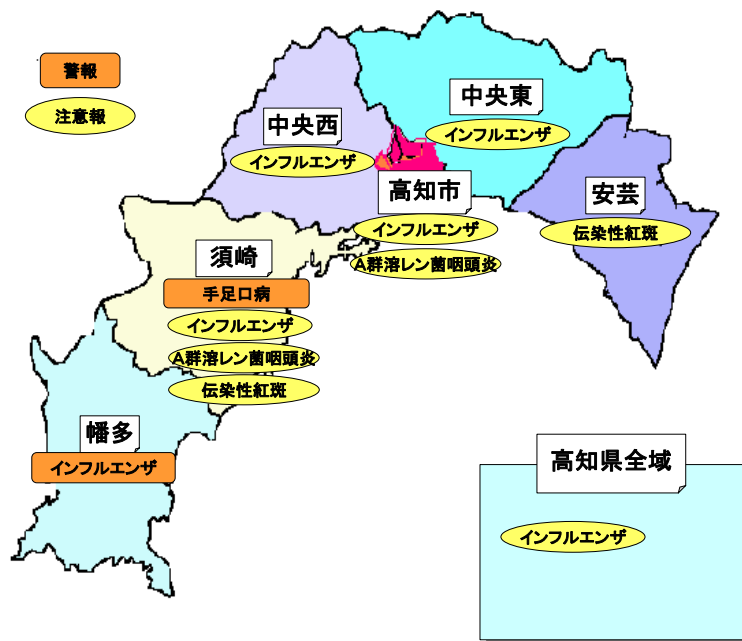
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	21.23	中央東で急減、県全域、幡多、高知市、中央西、安芸で減少していますが、幡多では警報値を、県全域、高知市、中央西、須崎、中央東では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	3.57	中央西、中央東で減少していますが、県全域、高知市、幡多で増加し、須崎、高知市では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	3.27	中央東、高知市、幡多で減少していますが、須崎、中央西で急増しています。
手足口病	↗	0.60	中央東、中央西で急減していますが、高知市で急増、県全域、須崎で増加し、須崎では警報値を超えています。
RSウイルス感染症	↑	0.53	幡多で急減、高知市で減少していますが、県全域、中央西、安芸で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



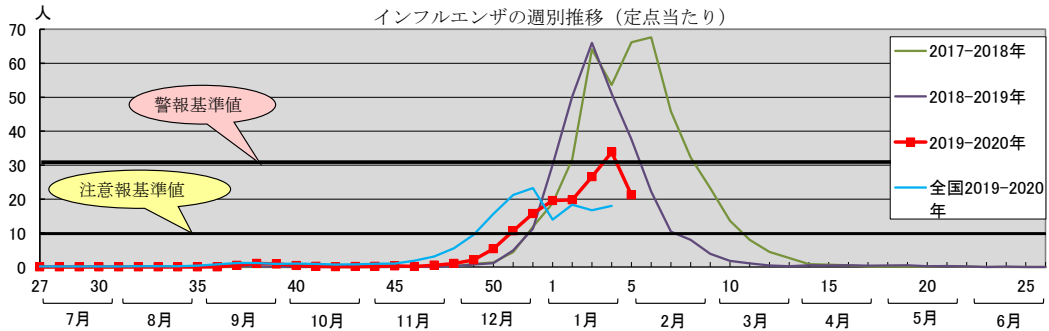
★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザは県全域で注意報値を超えています

学校等における集団発生の報告では、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の報告が続いています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 936 件、B 型 44 件に加えて、不明 39 件の報告があります。

インフルエンザは減少していますが、警報値を超えている地域もあるため、外出後の手洗いを心掛けましょう。また、症状のある方は、咳エチケットで感染対策し、早めに医療機関を受診しましょう。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。



高知県保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2020年第5週）

	第5週		第4週		第3週		第2週		第1週		第52週		第51週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	21.23	○	33.83	△	26.58	○	19.77	○	19.56	○	15.73	○	10.65	○
安芸	4.75	-	8.50	-	8.25	-	6.75	-	10.75	○	6.50	-	0.25	-
中央東	18.64	○	37.82	△	18.91	○	16.82	○	13.91	○	11.91	○	6.55	-
高知市	21.25	○	30.69	△	26.81	○	19.56	○	27.00	○	22.63	○	13.75	○
中央西	20.00	○	34.40	△	33.00	△	27.40	○	18.60	○	14.20	○	17.80	○
須崎	19.50	○	22.00	○	20.50	○	20.75	○	14.50	○	8.75	-	6.25	-
幡多	34.63	△	52.88	△	44.88	△	25.50	○	20.00	○	16.25	○	13.00	○
全国			18.00	○	16.73	○	18.33	○	13.93	○	23.24	○	21.22	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
学級閉鎖	第5週	—	2	11	1	1	1	16
	累計	—	6	34	5	3	3	51
学年閉鎖	第5週	1	3	—	1	2	1	8
	累計	5	7	4	8	5	11	40
休校	第5週	—	—	—	—	2	—	2
	累計	—	—	—	2	2	1	5

<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第 2 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

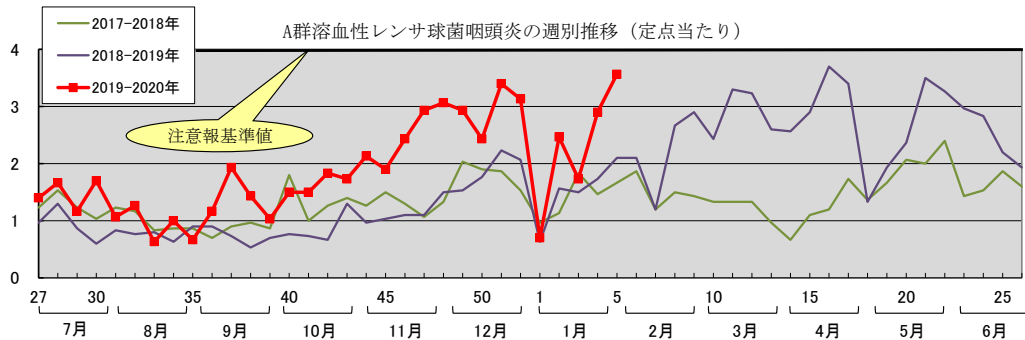
●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

この病気は A 群レンサ球菌による上気道感染症です。

典型的な症状は、2～5 日の潜伏期を経て、突然 38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1 週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



＜予防方法＞ 手洗い、咳エチケットが有効です

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

【学校感染症】

A 群溶血性レンサ球菌感染症は学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「適正な抗菌剤治療開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登校可能」と規定される学校感染症（第 3 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
5	不明熱	39℃, 咳嗽,	1	男	須崎	Human herpes virus 6
5	伝染性紅斑	発疹,	3	男	須崎	Human herpes virus 7
5	不明発疹症	39℃, 発疹,	6	女	須崎	Human herpes virus 7
5	インフルエンザ	38℃, 咳嗽,	6	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09 Influenza virus B/Victoria
5	インフルエンザ	40℃, 咳嗽, 上気道炎,	6	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
5	—	39℃, 嘔吐, 嘔気,	9	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
5	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	12	女	中央東	Influenza virus A H1pdm09
5	インフルエンザ	40℃, 筋肉痛,	8	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
5	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	10	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
5	インフルエンザ	39℃, 咳嗽,	12	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
5	—	39℃, 嘔吐, 嘔気, 咳嗽,	5	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
5	インフルエンザ	39℃, 上気道炎,	6	女	幡多	Influenza virus A H1pdm09
5	インフルエンザ	40℃, 上気道炎,	4	男	幡多	Influenza virus A H1pdm09
5	—	40℃, 咳嗽,	6	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
5	感染性胃腸炎	38℃, 嘔吐, 嘔気,	6	男	高知市	Norovirus GII NT
5	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐, 嘔気,	2	女	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	不明熱	39℃,	14	男	高知市	human parvovirus B19
4	—	40℃,	5	男	幡多	Human herpes virus 6
4	水痘疑い	37℃, 発疹,	6	男	須崎	Human herpes virus 7
4	インフルエンザ	38℃, 咳嗽,	5	男	須崎	Influenza virus B/Victoria

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週(2020年第1週～第5週)では、AH1pdm09の検出割合が最も多く90%(183件)、次いでB(ビクトリア系統)が9%(18件)、AH3が1%(2件)となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	5	60歳代 男	安 芸
		1		70歳代 女	
		1		40歳代 男	高知市
後天性免疫不全症候群	1	2	40歳代 男		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	70歳代 男		
侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	70歳代 男		
水痘(入院例に限る)	1	1	40歳代 女	中央東	
5類	梅 毒	1	1	¥	高知市
	百日咳	1	9	30歳代 女	安 芸
		1		40歳代 男	
		1		10～14歳 女	幡 多
		1		10～14歳 女	

★定点医療機関からのホット情報

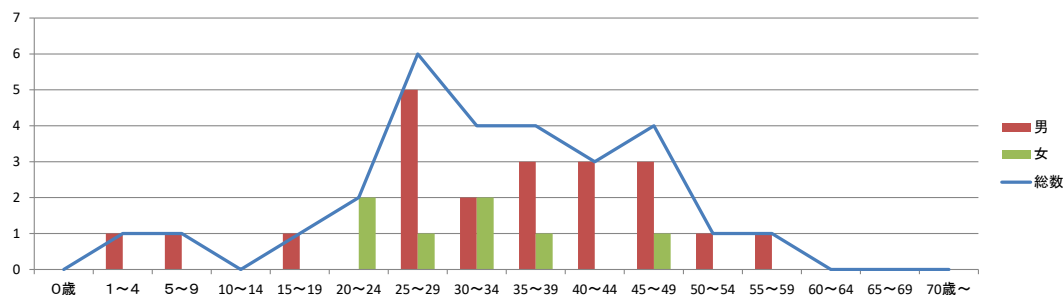
保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	hMPV 急性気管支炎 2例 (3歳男)
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 (LAMP 法陽性) 3例 (6歳女、9歳男、10歳女) インフルエンザ 16例 (A型15人、B型1人:1～11歳)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ 14例 (全例A型: ワクチン接種済み4人)
高知市	高知医療センター小児科	hMPV 1例 (3歳女) インフルエンザ A型 1例
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 1例 (13歳) ノロウイルス胃腸炎 3例 (0歳、1歳2人)
	国立病院機構高知病院小児科	インフルエンザ脳症 1例 (入院)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ 34例 (A型33人、B型1人) 溶連菌感染症 13例 伝染性紅斑 1例 (9歳女) インフルエンザ A型と溶連菌の同時感染 1例 (11歳男) RSウイルス感染症 1例 (1歳男) 手足口病 1例
	細木病院小児科	キャンピロバクター 1例 (14歳男) ノロウイルス 1例 (2歳男)
中央西	石黒小児科	インフルエンザ 29例 (A型27人、B型2人)
	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎 1例 (12歳男) インフルエンザ 23例 (A型18人、B型5人 内ワクチン接種済み4人:2歳女、3歳男、12歳女)
須 崎	大西病院小児科	インフルエンザ A型 6例 マイコプラズマ肺炎 1例 (8歳男)
	もりはた小児科	流行性角結膜炎 (アデノウイルス) インフルエンザ B型が増加傾向 手足口病、溶連菌感染症続く
幡 多	渭南病院小児科	ノロウイルス 1例 (25歳男)
	こいけクリニック	ノロウイルス胃腸炎 2例 (1歳女、2歳男)
	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1例 (6歳男) インフルエンザ 97例 (A型96人、B型1人)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2019年の累積報告数は2,306人、2020年第1週～第4週の累積報告数は28人となっており、2019年の報告数のうち94%（2,176人）が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に（男性1,804人、女性502人）に報告数の多い状態です。

2020年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

- 対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
 - ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
- 1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加的対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

★注目すべき感染症

◆2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染症（2020年1月27日12時現在）（国立感染症研究所IDWR2020年第3号より）

新型コロナウイルス感染症は、2019-nCoV（Novel Coronavirus）と関連がみられる急性の呼吸器感染症である。中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市保健衛生委員会によると、2019年12月以降、同市では原因不明の肺炎患者が発生しており、2020年1月7日、中国当局が新種のコロナウイルスを検出したと世界保健機関（WHO）が発表した。その後、同ウイルスと関連のある呼吸器感染症患者は最も多くの患者を報告している中国国内以外にも複数の国・地域で確認されている〔1月27日現在：確定患者数 合計2,788例、うち中国2,744例、中国国外44例（タイ8例、韓国4例、台湾4例、米国5例、ベトナム2例、シンガポール4例、フランス3例、オーストラリア4例、マレーシア4例、ネパール1例、カナダ1例、日本4例）、死亡者数 中国80例〕。日本国内では、2020年1月27日12時現在で、これまで検査対象となった症例数は計14例であり、うち4例が確定診断されており、すべて中国湖北省武漢市の滞在歴があった。なお、国内外の患者数等に関する情報は刻々と変わっていることに注意されたい*。

* 2020年1月31日午前9時半現在の世界の総確定患者数は8千人を超え、うち死亡者数：171例、国内の総確定患者数：14例（無症状2例を含む）となっている。

新型コロナウイルスが報告される以前、人に感染症を引き起こすコロナウイルスはこれまで6種類が知られていたが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあるSARS（重症急性呼吸器症候群）-CoVとMERS（中東呼吸器症候群）-CoV以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまっていた。これらの6種類のコロナウイルスの主な感染経路は咳、くしゃみ、会話等から発生する飛沫による感染（飛沫感染）であり、他に飛沫の付着物に触れた手指を介した接触感染もある。同様に、新型コロナウイルスも飛沫感染や接触感染を主とする感染経路であると考えられ、2020年1月23日に開催されたWHOの緊急委員会では、中国国内ではヒトからヒトへの感染が認められるものの、感染の広がりやすさの程度、臨床的特徴、重症度については完全にはわかっていないと報告されている。

新型コロナウイルス感染症の臨床的特徴を含む多くの情報は不足しているが、2020年1月2日時点での患者41人（死亡6人）時点の情報によると、初発症状としては発熱、咳、筋肉痛・倦怠感を多くの患者で認め、痰、頭痛、下痢症状は乏しかったとされた。この報告では基礎疾患を患者の約3割に認めており、また、SARSやMERSの知見からも、基礎疾患等を有する者においては重症化するリスクが一定程度あることがうかがわれる。

WHOの国際保健規則（IHR）緊急委員会は、2020年1月24日未明、中国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生状況が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC** Public Health Emergency of International Concern）」にはその時点で該当しないと発表した*。

* 改めて開催された1月31日未明の緊急委員会で、WHOは今事例がPHEICに該当するに至ったとして発表した。

今後の対応としては、重症度や感染性を含めた本感染症のインパクトが不明であること、国内での流行がまだ確認されていないことから、現時点では主に以下のような対応が想定されている。すなわち、空港等における検疫所による水際対策の強化のみならず、国内で発症する患者については、重症患者を対象とした疑似症サーベイランスによる疑い例の探知、急性呼吸器症状を有する者の集団発生の探知、院内感染対策の強化、基本的な感染予防策の周知啓発の強化、など重要であり、これらにより感染拡大を防止することが可能であると考えられる。

厚生労働省、国立感染症研究所においては、それぞれ、中国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生について新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報についてのホームページを開設しており参照されたい。

** PHEICとは、疾病の国際的拡大により、他国に公衆の保健上の危険をもたらすと認められ、緊急に国際的対策の調整が必要な事態をいう。過去にPHEICが発出された事例として、2009年新型インフルエンザ、2014年野生型ポリオウイルスの国際的な拡大、2014年エボラ出血熱の西アフリカでの感染拡大、2016年ジカ

熱の国際的拡大、2019年コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱の発生がある。

★新型コロナウイルス感染症について

国内及び海外における新型コロナウイルス感染症の発生状況の変化等に鑑み、令和2年2月1日から感染症法に基づく「指定感染症」に指定されました。

●厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年2月3日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

定点名	保健所	第5週 令和2年1月27日(月)～令和2年2月2日(日)						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(4週)	高知県(5週末累計) R1/12/30～R2/2/2	全国(4週末累計) R1/12/30～R2/1/26
インフル エンザ		19	205	340	100	78	277	1,019 (21.23)	1,624 (33.83)	89,436 (18.00)	5,807 (120.98)	328,401 (67.19)
小児科	咽頭結核熱			2	1		1	4 (0.13)	6 (0.20)	1,307 (0.41)	36 (1.20)	4,686 (1.50)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		3	73	9	15	7	107 (3.57)	87 (2.90)	10,074 (3.18)	341 (11.37)	27,702 (8.89)
	感染性胃腸炎	8	25	35	6	12	12	98 (3.27)	122 (4.07)	22,639 (7.14)	422 (14.07)	66,254 (21.26)
	水痘		2	3				5 (0.17)	6 (0.20)	1,361 (0.43)	28 (0.93)	5,308 (1.70)
	手足口病			4		14		18 (0.60)	12 (0.40)	523 (0.16)	53 (1.77)	1,970 (0.63)
	伝染性紅斑	3	1	4	1	2		11 (0.37)	20 (0.67)	1,667 (0.53)	69 (2.30)	5,749 (1.84)
	突発性発疹		1	4	2	1	1	9 (0.30)	7 (0.23)	973 (0.31)	33 (1.10)	3,233 (1.04)
	ヘルパンギーナ							()	2 (0.07)	69 (0.02)	4 (0.13)	272 (0.09)
	流行性耳下腺炎				4			4 (0.13)	3 (0.10)	181 (0.06)	10 (0.33)	603 (0.19)
	RSウイルス感染症	1		2	13			16 (0.53)	8 (0.27)	1,036 (0.33)	47 (1.57)	3,579 (1.15)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	20 (0.03)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	1 (0.33)	276 (0.40)	3 (1.00)	1,192 (1.75)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	13 (0.03)	1 (0.13)	29 (0.06)
	無菌性髄膜炎							()	()	11 (0.02)	()	36 (0.08)
	マイコプラズマ肺炎		1					1 (0.13)	1 (0.13)	146 (0.31)	11 (1.38)	596 (1.25)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	2 ()	()	3 (0.01)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	18 (0.04)	1 (0.13)	38 (0.08)
計 (小児科定点当たり人数)	31 (10.75)	238 (23.21)	468 (32.78)	136 (31.99)	122 (41.50)	298 (38.83)	1,293 (30.30)			129,736	6,866 (155.75)	449,671
前週 (小児科定点当たり人数)	48 (15.50)	458 (43.82)	619 (42.14)	194 (41.73)	124 (40.00)	456 (59.48)		1,899 (42.94)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	保健所	第5週						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(4週)	高知県(5週末累計) R1/12/30～R2/2/2	全国(4週末累計) R1/12/30～R2/1/26
インフル エンザ		4.75	18.64	21.25	20.00	19.50	34.63	21.23	33.83	18.00	120.98	67.19
小児科	咽頭結核熱			0.18	0.33		0.20	0.13	0.20	0.41	1.20	1.50
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		0.43	6.64	3.00	7.50	1.40	3.57	2.90	3.18	11.37	8.89
	感染性胃腸炎	4.00	3.57	3.18	2.00	6.00	2.40	3.27	4.07	7.14	14.07	21.26
	水痘		0.29	0.27				0.17	0.20	0.43	0.93	1.70
	手足口病			0.36		7.00		0.60	0.40	0.16	1.77	0.63
	伝染性紅斑	1.50	0.14	0.36	0.33	1.00		0.37	0.67	0.53	2.30	1.84
	突発性発疹		0.14	0.36	0.67	0.50	0.20	0.30	0.23	0.31	1.10	1.04
	ヘルパンギーナ								0.07	0.02	0.13	0.09
	流行性耳下腺炎				1.33			0.13	0.10	0.06	0.33	0.19
	RSウイルス感染症	0.50		0.18	4.33			0.53	0.27	0.33	1.57	1.15
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.03
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.40	1.00	1.75
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	0.13	0.06
	無菌性髄膜炎									0.02		0.08
	マイコプラズマ肺炎		1.00					0.13	0.13	0.31	1.38	1.25
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.01
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.04	0.13	0.08
計 (小児科定点当たり人数)	10.75	23.21	32.78	31.99	41.50	38.83	30.30				155.75	
前週 (小児科定点当たり人数)	15.50	43.82	42.14	41.73	40.00	59.48		42.94				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第5週)

